

工芸の 金属と漆 美展

2022 1/11 tue. 2/10 thu.

会期中無休 開館時間 / 午前10時～午後5時 (受付は午後4時30分)
会場 / イセ食品株式会社 主催・イセ文化財団 入場無料
後援 : 富山県、高岡市、北日本新聞社、公益社団法人日本工芸会

日本の金工と漆芸作品の熟練した技術と創造性をアピールし、工芸の愛好家が増える一助となれば幸いと存じ、「工芸の美—金属と漆—展」を開催いたします。国内はもとより海外へも日本の工芸作品の素晴らしさを発信し、作家性を強調しながら国際的にも活躍の場をひろげていける一歩になればと願います。一人でも多くの方々にご高覧いただけますよう、お待ちしております。



▲青木千絵「BODY 08-2」(漆芸)
カメラマン: 神藤剛
画像提供: 静岡市美術館



▲三好かがり 彩切貝蒔絵乾漆碗「冬の韻」(漆芸)



▲中田真裕「Flame」(漆芸)



▲般若泰樹 吹分花入 (金工)



▲萩野紀子 鍛冶合線の壺 (金工)



▲松島さくら子「elements 2012 V」(漆芸)



▲奥窪聖美 乾漆赤抜螺細花合子 (漆芸)



▲大沼千尋 切炭銅花器 (金工)



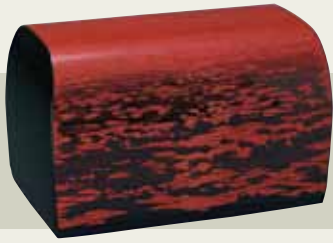
▲岡本佳子 接合せ菓子器「雨の譚」(金工)



▲大角幸枝 南籙四方盆「薫風」(金工)

- 【漆芸作家】
青木千絵
奥窪聖美
しんたにひとみ
鈴木 元子
伴野 崇
中田 真裕
松島 さくら子
松本 達弥
松本 真奈
三好 かがり
藪内 江美
- 【金工作家】
家出 隆浩
市川 正美
大角 幸枝
大槻 昌子
大沼 千尋
岡本 佳子
押山 元子
鹿島 和生
佐故 龍平
高橋 阿子
萩野 紀子
富 春 齋
原 智
般若 泰樹
般若 保
山本 晃

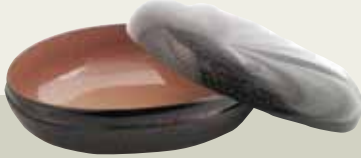
工芸の 金属と漆 美展



▲数内江美 乾漆蒔醬箱「陸離」(漆芸)



▲佐故能平 漆目金太鼓形茶器(金工)



▲鈴木元子 乾漆蒔醬箱「とくん」(漆芸)



▲押山元子 摺拌文匣「旭光」(金工)



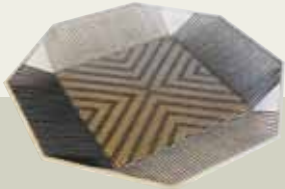
▲鹿島和生 研出し象嵌赤銅飾壺(金工)



▲松本真奈 乾漆螺鈿盛器「波光」(漆芸)



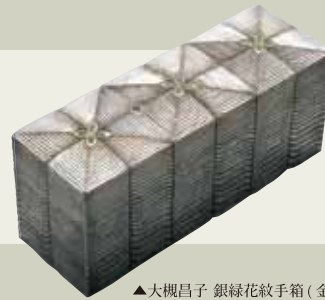
▲市川正美 布目象嵌華文鉄箱(金工)



▲家出隆浩 あやおりがね器「透 1998」(金工)



▲島春斎 舟形釜(金工)



▲大槻昌子 銀緑花紋手箱(金工)



▲般若保 吹分花器(金工)



▲伴野崇 乾漆合子「颯々」(漆芸)



▲原智 鐵地魚々子象嵌香炉「朱雀」(金工)



▲高橋阿子 蠟型鍍銅透し文花器(金工)



▲山本晃 切嵌象嵌接合せ鉢「精音」(金工)



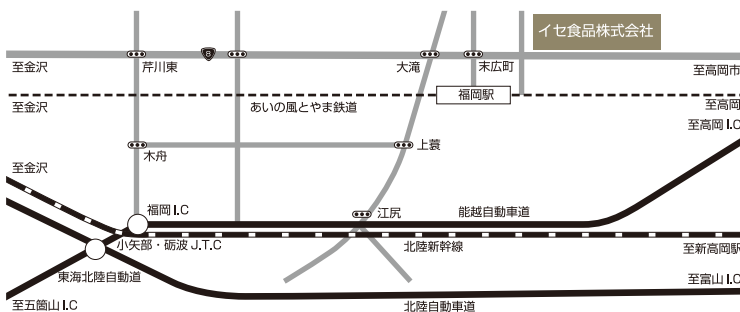
▲松本達弥 彫漆箱「極光」(漆芸)

【アクセス】

あいの風とやま鉄道・高岡駅から車で約 20 分 あいの風とやま鉄道・福岡駅下車徒歩約 10 分
北陸新幹線・新高岡駅から車で約 20 分

【高速道路でのアクセス】

東京・金沢方面→北陸自動車道→小矢部・砺波 J.C.T→能越自動車道→福岡 I.C 経由
名古屋方面→東海北陸自動車道→小矢部・砺波 J.C.T→能越自動車道→福岡 I.C 経由



【感染症予防のためのお願い】

- 入館時の検温、手指アルコール消毒にご協力ください。
- 37.5 度以上の発熱や風邪症状がみられる方は、入館をお断りさせていただく場合がございます。体調管理には十分ご配慮の上、ご来館いただきますよう、お願い申し上げます。
- 館内では必ずマスクの着用をお願いいたします。

イセ食品株式会社

〒939-0117
富山県高岡市福岡町福岡新 181 番地
TEL 0766-64-3145
FAX 0766-64-2086



撮影：イマデラ ガク